

「国際ビーチクリーンアップ in 須磨」報告

毎年恒例となりました関西支部の社会貢献活動として、10月7日（日）に開催された「ビーチクリーンアップ in 須磨」に参加しました。このイベントは、毎年、非営利団体であるクリーンアップ関西事務局が、JEAN（Japan Environmental Action Network）と連携して、国際海岸クリーンアップの一環として実施しているもので、参加者は3連休の中日にも関わらず、約500名にも上りました。個人のみならず団体からも多く参加し、我々も日本船舶海洋工学会関西支部として13名が参加しました。参加者の皆様には、支部の特製タオルをお渡ししました。

「ビーチクリーンアップ in 須磨」の活動の特徴は海岸のゴミを集め、種類を調査するところにあります。調査結果は、国や自治体が行っているゴミを減らす取り組みの効果の検証や、漂着ゴミのデータから国際的なゴミ排出の状況を把握することなどに利用されています。

当日は晴天に恵まれ、汗ばむくらいの陽気でしたが、風は涼しく、絶好の清掃日和でした。砂浜には目立つ様な大きいゴミはあまり見られなかったのですが、注意して見てみると、タバコの吸殻、飲み物の蓋等が多く見られました。海岸清掃を通していかに海岸で楽しんだ後の片付けが出来ていないかが判り、反省させられました。



清掃活動後の集合写真「お疲れ様でした！」

なかなか個人ではこのような社会貢献活動に参加するのは敷居が高いのですが、学会メンバーとして組織的に参加するのではあれば、その敷居も低く感じるので、来年もこの活動への参加を期待します。

（記 会務委員 有村翼）